

会議録

会議の名称	男女平等参画推進委員会 平成24年度 第6回
開催日時	平成25年1月11日（金曜日） 午後6時40分から8時40分まで
開催場所	田無庁舎1階 102会議室
出席者	出席：渥美委員、石崎委員、大野委員、坂元委員、新保委員、布施委員、谷関委員、渡辺委員、照沼委員、大竹委員、高田委員 欠席：牧田委員、小澤委員、島委員 事務局：浜名課長
議題	(1) 第5回男女平等参画推進委員会会議録（案）について（資料1） (2) 第2次男女平等参画推進計画各課実績（平成23年度）評価について (3) 市民意識調査報告書案について（資料2） (4) 市民意識調査報告書案概要版について（資料3） (5) 職員意識調査結果とりまとめ案について（資料4） (6) その他
会議資料の名称	資料1 第5回男女平等参画推進委員会会議録（案） 資料2-1男女平等参画に関する西東京市民意識・実態調査 -2追加分析 資料3 男女平等参画に関する西東京市民意識・実態調査概要版案 資料4 職員意識調査とりまとめ案
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>議題1 第5回男女平等参画推進委員会会議録（案）について</p> <p>○事務局： 第5回推進委員会会議録については、次回委員会で今回の会議録と合わせて提出するので、次回の委員会で承認いただきたい。</p> <p>議題2 第2次男女平等参画推進計画各課実績（平成23年度）評価について</p> <p>○事務局： 事務局から各事業についてA～Dまでの評価案を記載した資料を作成した。それをもとにして、「学び・家庭」、「働く場・まちづくり」、「人権・計画」のグループに分かれて各事業の評価について協議いただきたい。</p> <p>○事務局： この資料の事業評価はあくまで事務局案なので、ご意見があれば評価を修正していただきたい。また、各担当課を励ますようなコメントを記載いただければと思う。</p> <p>○委員長： 前回の評価の状況等について、前回担当された委員、委員からお話いただきたい。</p>	

○委員：

前回評価のときは、各グループに事務局やグループ内委員との調整を進める連絡係がいた。時間内に終わらない場合はメール、ファックス等で委員同士でやり取りをし、各委員の評価を確認しながら協議を進めた。担当課が作成した評価の文章だけでは読み取れない部分は、担当課に行って事情を聴いたり資料をもらったりということも必要になるだろう。

○委員：

前回の評価は、最初は分担を決めて、グループ内で調整していった。委員会内だけでは時間が足りないので、それ以外の時間での調整が重要になるだろう。また、各委員の知識等の差があるので、評価のために調べたり各委員の評価をすり合わせるのに時間を要した。

○委員長：

委員会での評価結果がどのように担当課の事業に反映されたのか、または反映されなかったのか、評価に対して反論はあったのか、といったことが、前回の評価ではわからない。委員会での評価はどのように事業に反映されているのだろうか。

○事務局：

各課によって取り組み方は違ってくると思うが、委員からの評価結果は各課に見ていただいている。

○委員：

当初、担当課による各事業の評価は文言がなく空白が多かったが、徐々に文章が増えてきた。また、委員会の評価による助言を受けて、男女共同参画の視点をふまえた文言で評価するようになってきている。担当課は変わってきていると感じる。

○委員長：

事業の評価に「拡充」が多いのが目立つ。現在、自治体は予算を減らさないといけない状況にあるのだが、拡充する必要があるという説明がわかりにくい。本来は自治体全体の事業を見れば、「拡充」が増えた分、「廃止」「縮小」等が増えるのが自然である。担当課が「拡充」と書かないといけないと思っているのかもしれない。

○委員：

この「拡充」等は、委員会で拡充するべきだと判断して記載したものである。予算執行等に直接関係があるとは限らない。

○事務局：

本委員会は条例で設置された委員会なので、提出された意見は最大限尊重しなければならないが、現実としては予算の関係で実施できないということもある。

○委員長：

例えば、過去の委員会で、パリティ情報誌をもっと薄くして全戸配布したほうがよいという意見が出たが、これは予算も関係してくる。「拡充」でも「継続」でもなく、やり方の変更である。「拡充」「継続」と委員会で決めることにあまり意味がないように感じる。

○事務局：

予算のことも考慮に入れながら本委員会で評価を進めるのは難しいということもある。

○委員長：

161事業すべてに対して本委員会で評価をするのは数が多すぎる。

○事務局：

次期計画においては161の事業をそれぞれ評価をしないで、絞り込みたいと考えるが、今回は今までの評価の変化を見たいため、161の事業で評価をしていただきたい。

○委員長：

事業が未実施と書かれている場合、事業がもうすでに終わったから未実施なのか、何らかの理由で実施ができなかったのか、理由がわからないと評価できない。目標が書かれていれば、到達できているかどうかで評価は可能になる。各課の目標は記載できないのか。

○事務局：

これから各グループで検討を進めていくなかで、評価の理由等を担当課に確認したいということであれば、事務局が担当課に確認してお知らせする。

○委員長：

実際にやってみないとわからない部分があるので、各グループに分かれて一部評価を検討していただきたい。

(各グループにわかれて評価を実施)

○事務局：

班長は1班は委員、2班は委員、3班は委員となられたということですのでよろしく願います。1月末までに各委員は評価とコメント案を事務局に送っていただきたい。また、質問があればこれも1月末までにご連絡いただきたい。事務局は各委員の評価とコメント案をグループごとに合体させた資料を作成し各グループにお戻りする。また質問の回答もお戻りする。委員の皆さんはその合体させた資料を次回推進委員会までにご確認いただいたうえで、次回推進委員会では各グループで評価を調整していただきたい。

○委員：

学校教育のところで、東京都教育委員会が出している「人権教育プログラム（平成23年3月）」を全教職員に配布していると書かれている。この文書を入手できるのであればいただきたい。

○事務局：

必要な資料等があれば、各課に直接依頼するのではなく、事務局に連絡いただきたい。「人権教育プログラム（平成23年3月）」については、まず公表されているものか確認する。

議題3 市民意識調査報告書案について

○事務局：

(修正箇所のポイントの説明)。

○事務局：

委員長から依頼いただいた追加分析資料（2②）は、推進委員会でご覧になっていただき、報告書には掲載しない方向で考えている。

○委員：

11ページの「5 地域とのつながり」の割合が一部違っているので訂正してほしい。

○委員長：

60ページの「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活」の優先度（希望と現実）のグラフが、国の報告書のグラフもこうなっているのだが、わかりにくいので1つ1つの項目ごとに希望と現実を左右で比較できるようなグラフに修正してほしい。

○事務局：

その他に修正すべき箇所等があったら、今月中に事務局まで連絡をいただきたい。

議題4 市民意識調査報告書案概要版について

○事務局：

（修正箇所のポイントの説明）

○事務局：

修正すべき箇所等があったら、今月中に事務局まで連絡をいただきたい。

議題5 職員意識調査結果とりまとめ案について

○事務局：

（修正箇所のポイントの説明）

○委員：

前回調査で、自由回答が非常に興味深かった。報告書に掲載するか、もしくは推進委員会資料として提示していただきたい。

○事務局：

少なくとも本委員会には提示したいと考えている。

○事務局：

その他に修正すべき箇所等があったら、今月中に事務局まで連絡をいただきたい。

議題6 その他

○事務局：

次回推進委員会は、2月14日（木曜日）の午後6時30分から開催する。

○委員長：

以上で推進委員会を閉会する。